

授業科目	保育メディア演習 (CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21410J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-2			
担当教員	末寄 雅美、谷崎 太							
授業概要	この授業では人間形成上極めて重要な幼児期におけるメディア利用について、これまで提唱され実践されてきたすぐれた教育方法とメディアを再考することを通して考える。また、保育者として必要な機器やサービスについても理解する。なお、この授業においては、保育者としてのプレゼン能力を培う「アクティブ・ラーニング」(AL)の手法を積極的に取り入れることや、情報機器を活用した保育資料の作成を行うことを通して、指導の方法を実践的に学ぶ内容となっている。また、一部「認定絵本土」の指定講座となっている。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法の基礎的理論・実践を理解し、これからの社会に必要な主体的・対話的で深い学びの教育方法の在り方が理解できる 2. 保育室、教材、メディア関連機材など保育を構成する基礎的な要件を理解し、話法等の技術を身につけている 3. 乳幼児期の発達を十分理解した上で、「メディア(媒介物)」の活用を考え、保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得する 4. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける 5. 学習指導理論を踏まえ、ねらいと内容、必要な教材、展開の方法、評価基準の視点を含めた指導案が作成できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	10	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			35		30		65	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)			25	10			35	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1-5 を全て達成した上で、自らの保育目的に最適な教育(保育)方法を考えることができる。 さらに、その教育方法を展開し、情報機器を活用したプレゼンテーションができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法の基礎的理論・実践を理解し、これからの社会に必要な主体的・対話的で深い学びの教育方法の在り方が理解できる 2. 保育室、教材、メディア関連機材など保育を構成する基礎的な要件を理解し、話法等の技術を身につけている 				

			3. 乳幼児期の発達を十分理解した上で、「メディア(媒介物)」の活用を考え、保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得する 4. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける 5. 学習指導理論を踏まえ、ねらいと内容、必要な教材、展開の方法、評価基準の視点を含めた指導案が作成できる	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	はじめに(授業についてのガイダンス)、保育におけるメディア環境について、「教育方法」のとらえ方(末寄)	講義	シラバスを読んでおく。教育実習3の実習先で、どのような情報機器が使われているか観察しておくこと。	60
2	教育の諸理論と教育方法(1)主体的・対話的な学びにつながる保育とは(末寄)	講義	復習：用語の理解.	30
3	教育の諸理論と教育方法(2)子どもの心をとらえるもの、遊びと保育、メディアとしての絵本(末寄)【認定絵本土指定講座】	講義	復習：レポート作成	30
4	保育方法と教材について(1)絵本の世界を広げる技術とは、効果的な絵本の検索方法を図書館で学ぶ(学内講師) 【認定絵本土指定講座】	講義・演習	復習：PCを使って絵本や蔵書・論文を検索し、レポートを作成する	30
5	保育方法と教材について(2)PCを用いたプレゼン方法の技術を学ぶ(谷崎)	演習	テーマを決め、プレゼン資料に必要な写真や文章を作成する	30
6	保育方法と教材(3)保育資料の作成、PCソフトの活用を学ぶ(谷崎)	演習	ソフトを用いて資料を仕上げる	30
7	保育方法と教材について(4)保育実践の記録化・可視化、ポートフォリオの技術を学ぶ(谷崎)	演習	課題を仕上げる	60
8	保育方法と教材(5)メディアとしての絵本(外部講師) 【認定絵本土指定講座】	講義	復習:PCを用いて、レポートを作成する	60
9	保育方法と教材(6)学生によるプレゼンテーション実践と相互評価・自己評価(谷崎)	演習(グループワーク)	予習としてグループワークに必要な情報を整理する。	30
10	メディアリテラシーを高めるー情報化のリスク・保育現場における情報の取り扱い(谷崎)	講義	講義内容の復習	30
11	メディア接触と子どもの発達について(1)スマホ・PC・ゲームの影響を考える(AL)(末寄)	講義・演習	次回の授業に向けた情報を集めレポートを作成する	30
12	メディア接触と子どもの発達について(2)子育てとSNS(AL)(末寄)	演習	ALの振り返りワークシートを仕上げる	30
13	メディア接触と子どもの発達(3)さまざまな教育方法・保育方法とメディアの活用(末寄)	講義	感想ワークシート作成	30
14	保育現場におけるメディア環境 「保育現場におけるメディア活用の設定」「保育現場のICT」(末寄)	講義・演習	期末レポート作成	120
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>実習園で、どのような情報機器がどのような場面で使われているか、観察しておく。 子育てや保育に関するネットニュースや記事などを読み、関心を高めておく。 PCが身近にある場合は、ワード文書作成など基本的な入力作業について慣れておいて欲しい。 また、これまでの授業で学んだ子どもの心と身体の発達段階について、遊びを重視する保育方法について復習しておくこと。</p>			
テキスト	プリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で指示。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>図書館を使った授業も行います。積極的に図書館を利用し、必要な資料を集める、読む、まとめるという学習を積み重ねましょう。 また PC を用いる授業もあります。苦手意識を持たずにチャレンジしてください。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>担当者からそれぞれレポート課題が出される。単位認定には、両方の課題レポート提出を必須とする。 ワークシートなど授業内で提示される提出物は、きちんと提出する。 プレゼンテーションやグループワークへの積極的な参加の態度を求める。</p>			

